

14 文字列操作

【フローチャートあり】

問題 14_1

JavaScript / Python / Java / C 言語

ユーザが入力したデータを元に、新たに文字列を生成し、画面に表示するプログラムを作成しなさい。

【実行例】

文字列を入力 : abcde

abcde

【フローチャートあり】

問題 14_2

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

ユーザが入力したデータを元に、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の文字数を画面に表示するプログラムを作成しなさい。

【実行例】

文字列を入力 : abcde

入力された文字数は 5 です。

【フローチャートあり】

問題 14_3

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

ユーザが入力したデータを元に、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の文字数が 11 文字以上の場合は 11 文字以降を削除して 10 文字だけ画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【実行例 1】

文字列を入力 : 01234567890123

結果文字列 : 0123456789

【実行例 2】

文字列を入力 : あいうえおかきくけこさしすせそ

結果文字列 : あいうえおかきくけこ

問題 14_4

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

ユーザが入力したデータを元に、新たに文字列を 2 つ生成しなさい。2 つの文字列が同じ内容である場合は「同じ文字列です。」と、そうでない場合は「違う文字列です。」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

【実行例】

文字列を 2 つ入力してください。

1 つ目文字列を入力 : ABC

2 つ目文字列を入力 : ABC

同じ文字列です。

問題 14_5

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成し、内容 2 の文字列を末尾に結合させ、画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都千代田区

【内容 2】

神田神保町

【実行結果】

東京都千代田区神田神保町

問題 14_6

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成し、内容 2 の文字列を” 東京都” と” 神田神保町” の間に挿入し、画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都神田神保町

【内容 2】

千代田区

【実行結果】

東京都千代田区神田神保町

問題 14_7

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中から” 東京都” 以外の部分を抜き出して画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都千代田区神田神保町

【実行結果】

千代田区神田神保町

問題 14_8

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中から区の名前だけを抜き出して画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都千代田区神田神保町

【実行結果】

千代田区

問題 14_9

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中から、“千代田”を検索し、“中央”に置換するプログラムを作成しなさい。また、置換した個数也表示すること。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都千代田区神田神保町千代田ビル 1 階

【実行結果】

東京都中央区神田神保町中央ビル 1 階

置換した個数： 2

問題 14_10

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の内容 1 で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中から、“田”を削除し画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【内容 1】

東京都千代田区神田神保町

【実行結果】

東京都千代区神神保町

ユーザが入力した日本の住所で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中に”市”の漢字が含まれていれば「市」と、”郡”の名前が含まれていれば「郡」と、市も郡もなければ「東京 23 区」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【実行結果】

住所を入力してください：神奈川県横浜市西区
市

住所を入力してください：埼玉県秩父郡東秩父村
郡

住所を入力してください：東京都千代田区神田神保町
東京 23 区

ユーザが入力した日本の住所で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中からを都道府県から後ろの部分を抜き出して画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の StringBuilder クラスを使用しなさい。

【実行結果】

住所を入力してください：東京都千代田区神田神保町
千代田区神田神保町

住所を入力してください：北海道札幌市中央区大通東
札幌市中央区大通東

住所を入力してください：京都府宇治市宇治東山
宇治市宇治東山

住所を入力してください：神奈川県横浜市西区
横浜市西区

ユーザが入力した日本の住所で、新たに文字列を生成しなさい。この文字列の中からの市または郡の名前（東京 23 区の場合は区の名前）だけを抜き出して画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の `StringBuilder` クラスを使用しなさい。

【実行結果】

住所を入力してください：神奈川県横浜市西区
横浜市

住所を入力してください：埼玉県秩父郡東秩父村
秩父郡

住所を入力してください：東京都千代田区神田神保町
千代田区

ユーザが入力した 2 件の日本の住所で、新たに文字列を 2 つ生成しなさい。これらの文字列の中からの市または郡の名前（東京 23 区の場合は区の名前）だけを抜き出して比較をする。

比較した結果、同じ市、郡、区の場合は「同じ市（郡、区）ですね。ご近所さんです。」と、そうでない場合は「同じ市（郡、区）ではないようです。」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。Java の場合は文字列操作の `StringBuilder` クラスを使用しなさい。

【実行結果】

1 つ目の住所を入力：神奈川県横浜市西区
2 つ目の住所を入力：神奈川県横浜市緑区
同じ市ですね。ご近所さんです。

1 つ目の住所を入力：埼玉県秩父郡東秩父村
2 つ目の住所を入力：埼玉県秩父郡横瀬町
同じ郡ですね。ご近所さんです。

1 つ目の住所を入力：東京都千代田区神田神保町
2 つ目の住所を入力：東京都港区赤坂
同じ区ではないようです。